

LUXSYS (ラクシス)



▶ 特長

- 1 各種鉄筋コンクリート部材をPC鋼棒により一体化することにより、地震時でも単独で安定する昇降路建物なので、既存建物の危険性を増大させずに増築を行うことが可能です。
- 2 シャフト部の床面積は、従来工法（鉄筋+ALC）の約65%となり非常にコンパクトです。
※4人乗り用（階段室型住宅用）の場合
- 3 施工時の組立は内足場のみで外足場が不要であるため、工事スペースが小さくなります。
- 4 1基あたり、通常4日での施工が可能で、従来の鉄骨造と比較して、躯体の工期は約1/10となり、全体工期の大幅な短縮が可能です。
- 5 増築面積が抑えられ、遡及適用の除外対象となる増築工事が行いやすくなります。

▶ 遡及適用の除外

既存の共同住宅にあとからエレベーター昇降路を取り付ける工事は、『増築工事』として扱われます。増築工事の場合、既存建築物の適法性が要求されますが、一定規模の増築工事においては、「既存の建築物に対する制限の緩和」があります。（建築基準法86条の7）

〈遡及適用の除外規定〉 既存の共用住宅が、既存不適格建築物で、増築部分はエキスパンションジョイントで構造上分離され、
 $\Delta A \leq A/20$ かつ 50m^2 以下の場合には遡及適用を受けません。
 ΔA ：増築部分の延べ床面積 A ：既存建物の延べ床面積

「増築する部分の床面積が既存建物の延べ床面積の1/20かつ 50m^2 を超えなければ、既存建物が現行の建築基準法を満たしていなくても、増築できます」*既存部分の危険性を増大させずに、増改築を行う場合

▶ スペック

ラクシスは**4人乗り**、**6～15人乗り**の2タイプで用意しております。
設置場所に応じてお選びください。

構造評定取得

評定番号 CBL RC005-13号

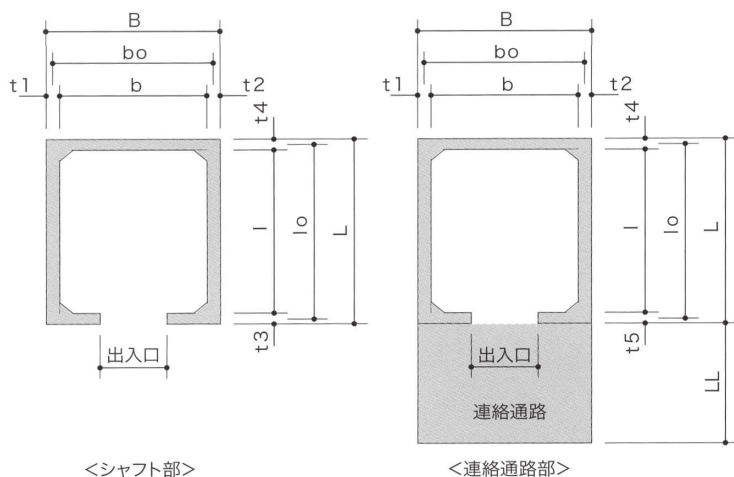
※:構造評定は、4人乗り用を対象としております。

6人～15人用については、構造評定に準じた設計を行っております。

※:上記認定は一部協会員社のみ取得しています。

▶ 昇降路の規格・寸法

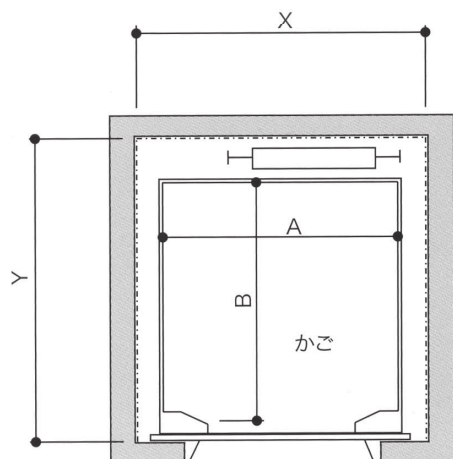
(単位:mm)



記号	4人乗り用	6～15人乗り用
b	1720	2150
l	1720	2500
t1	150	180
t2	150	180
t3	150	180
t4	150	180
t5	200	180
B	2020	2510
L	2020	2860
bo	1870	2330
lo	1870	2680
LL	600～1800	200～2000
階段室型	可	可
共用廊下型	可	可
シャフトの最高高さ	10.61～14.06(m)	実績18.45(m) (構造計算による)

▶ 収容できるエレベーター規格

中低層建築用4人乗り、乗用エレベーター6～15人乗り、住宅用エレベーター6～13人乗りに適用できます。



(単位:mm)

種類	定員 (人)	積載量 (kg)	かご内法 A × B	必要内寸法 X × Y
中低層建築用	4	320	900×1400	1550×1650
乗用	6	450	1400×850	1850×1550
	9	600	1400×1100	1850×1800
	11	750	1400×1350	1850×2050
	13	900	1600×1350	2150×2150
	15	1000	1600×1500	2150×2300
住宅用	6	450	1050×1150	1600×1750
	9	600	1050×1520	1600×2150
	9	600	1050×1520	1600×2400
	13	850	1050×2000	1700×2350

※住宅用については9人乗りトランクルーム付にも適用可能です。

▶ 施工手順



1] アンカーセット工事



2] PC鋼棒のセット



3] 部材の組立



4] 目地グラウト



5] PC緊張工

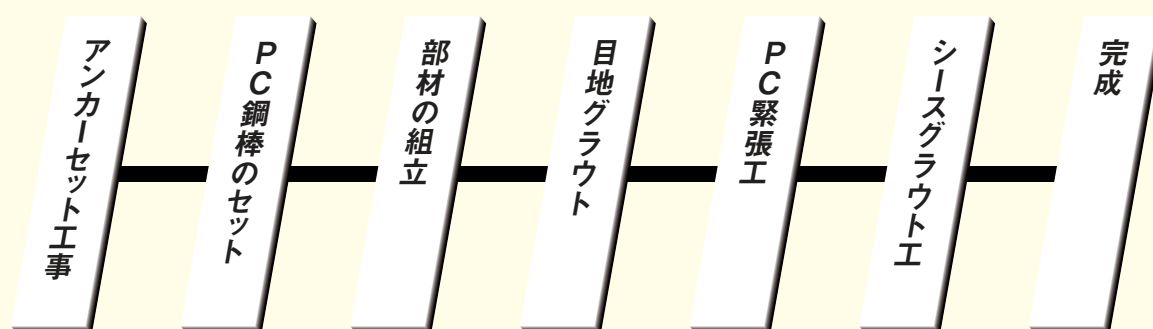


6] シースグラウト工



7] 完成

● 施工要領フローチャート



取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

※取扱地域が記載されていない地域については、担当営業所(P572)にお問い合わせください。

▶ 施工事例

■ 集合住宅・団地

入居率の向上が期待できます。それにより資産価値の維持が期待できます。階段室型、共用廊下型の集合住宅に設置が可能です。



■ 学校

夏休み等の休暇期間内での組立完了が可能です。
学校内の工事であれば、学童の安全を確保し、授業への影響を最小限に抑えることができます。



■ 公共施設

施設開放しながらの工事が可能です。
利用者への影響も大幅に削減できます。



■ 歩道橋

利用者の少ない夜間の施工が可能です。
大きな仮設スペースは必要ありません。



下水道・カルバート

擁壁・法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・環境

貯留・防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・新素材

参考資料